

科学的根拠に基づく身体的・心理的な産後のケアの効果的な実施を推進 するための研究

研究代表者： 上原 里程（国立保健医療科学院 疫学・統計研究部）

研究分担者： 鈴木 俊治（日本医科大学 女性生殖発達病態学）、安達 久美子（東京都立大学
大学院 人間健康科学研究科）、市川 香織（東京情報大学 看護学部看護学科）、渡邊 博幸
（医療法人学術会 木村病院）、日時 弘仁（東北医科薬科大学 医学部）

研究協力者： 佐々木 溪円（実践女子大学 生活科学部食生活科学科）

研究要旨

科学的根拠に基づく産後のケア実施を推進するために、本研究課題の 1 年目には産後の身体的ケアと心理的ケア・メンタルヘルスについて、疫学的な手法に則り文献レビューを行った。今年度は、文献レビューで整理した産後のケアの内容や産婦のアセスメントの実態等を把握するために 10 カ所の自治体に対してヒアリングによる調査を実施した。聞き取った内容を、（１）産後ケア事業の対象、（２）保健指導、（３）身体的ケア、（４）心理的ケア、（５）対象者別のケア、（６）アセスメント、（７）情報連携、（８）体制整備、（９）課題の 9 項目に区分し、各項目について「共通性の高い事項」と「特徴的あるいは差異が目立つ事項」に整理した。今後は各項目の聞き取り内容について提言に結びつくように考察を加え、令和 7 年度に実施予定の産後ケア事業に関する精神科と事業所・市町村との連携に関する実態調査の結果と併せて科学的根拠に基づく効果的な産後のケア実施に関するガイドンスおよびリーフレットの作成に繋げたい。

日本産婦人科医会（JAOG）に加盟する産科医療機関に対し、精神科医との連携およびパートナーのメンタルヘルスケアに関する情報の提供を依頼した。全産科医療機関の 21%しか、通院する精神科合併症のある妊婦全員を診察できておらず、一方で、32%の医療機関が関連する精神科医との連携が円滑であると回答した。また、産科医療機関においてパートナーのメンタルヘルス問題をスクリーニングした施設の割合は 7.3%であった。パートナーのうつ病に関する質問に対して、非常に重要と答えた施設は全体の 18.6%であった。産後ケア事業や多職種連携を主テーマとして、妊娠メンタルヘルスケアに関するナラティブレビューを行った。日本では、妊産婦とその家族の心身のヘルスケアを目的に産後ケア事業が着実に拡大しているが、精神科との連携やパートナーのメンタルヘルスケアについては未だ十分でないのが実状である。

A. 研究目的

母子保健法の一部を改正する法律（令和元年法律第 69 号）により、市町村の努力義務として規定された「産後ケア事業」は、こども未来戦略（令和 5 年 12 月 22 日閣議決定）において今後 3 年間の集中的な取組として示されている「加速化プラン」にも位置づけられている。全国の市町村で産後のケアの質の担保を図るためには、科学的根拠に基づいたケアの推進が必要である。

本研究課題の 1 年目の研究成果として、産後ケアに関する文献レビューを取りまとめ、産後ケア事業ガイドライン改定におけるエビデンスの提供をおこなった。

今年度は 2 年目の研究課題として、文献レビューでエビデンスを整理した産後のケアが、実際に現場でどの程度実施されているのかを把握するために実態調査をおこなった。併せて、産後ケア事業に関する精神科と事業所・市町村との連携に関する実態調査を令和 7 年度に実施するための準備を進めた。

また、日本産婦人科医会（JAOG）が例年実施している「妊産婦メンタルヘルスケア推進に関するアンケート調査」を用いたわが国の産婦人科医療事業所における産後ケア事業の拡大の状況、また、東京かつしか赤十字母子医療センターにおける産後ケア事業を利用する妊産婦の実状に関するこれまでのデータをベースとしてナラティブレビューを行った。

B. 研究方法

（1）文献レビューで整理した産後のケアの実践状況に関する調査

対象は、全国の自治体のうち、研究分担者、研究協力者およびこども家庭庁母子保健課担

当者から推薦され、これまで産後ケア事業に積極的に取り組んでいる自治体 10 か所とした。本研究では、産後のケアの内容や産婦のアセスメントの実態等を把握するために自治体および産後ケア事業実施事業所（以下、事業所）に対してアンケートおよびヒアリングによる調査を一体的に実施した。具体的には、事前アンケート調査への回答内容を踏まえて、より詳細な内容についてヒアリングをおこなった。ヒアリングは自治体および事業所の担当者を対象として対面あるいはオンラインで実施した。ヒアリング時にメモを取り、録音、録画データを用いてメモ内容を確認した。メモを基にヒアリング内容を項目別に整理した。項目は以下のとおりである。

- （1）産後ケア事業の対象
- （2）保健指導
- （3）身体的ケア
- （4）心理的ケア
- （5）対象者別のケア
- （6）アセスメント
- （7）情報連携
- （8）体制整備
- （9）課題

（2）日本産婦人科医会、東京かつしか赤十字母子医療センターにおける調査

「妊産婦メンタルヘルスケア推進に関するアンケート調査」および産後ケア事業利用者の実態調査を 2024 年度も実施した。前調査の結果の要旨は日本産婦人科医会記者懇談会で公表されているが、産後ケア事業における精神科との連携、パートナーへのメンタルヘルスケア実施状況について追加解析を実施した。また、後者については多職種連携の 1 例として、適宜日本の妊産婦メンタルヘルスケアに関するナラティブレビューに追記した。

（倫理面への配慮）

文献レビューで整理した産後のケアの実践状況に関する調査は、国立保健医療科学院研究倫理審査委員会の承認を得て実施した（承認番号：NIPH-IBRA#24015，令和6年10月1日）。

また、日本産婦人科医会、東京かつしか赤十字母子医療センターにおける調査は、両者の倫理審査を経て実施した。

C. 研究結果

（1）ヒアリング調査は10自治体の協力を得て令和6年11月から令和7年1月の間に実施した。項目別のヒアリング結果の要点を共通性の高い事項と特徴的あるいは差異が目立つ事項に分けて整理した。また、対象自治体のホームページに公開された産後ケア事業に関する情報を整理した。

産後ケア事業に関する精神科と事業所・市町村との連携に関する実態調査に関して、研究代表者の所属機関の研究倫理審査委員会に諮り承認を得た。

（2）日本産婦人科医会に加盟する産科医療機関のうち、75.2%が有効な情報（提出データの完了）を回答した。日本では、全産科医療機関の21%しか通院する精神科合併症のある妊婦全員を診察できておらず、一方で、32%の医療機関が、関連する精神科医との連携が円滑であると回答した。

また、妊娠中または分娩後のパートナーのメンタルヘルス健診に関する情報の提供も依頼し全体の71.3%が有効な情報を回答した。妊娠中および分娩後1カ月に母親の精神的健康問題をEPSS等でスクリーニングした産科医療機関の割合は、それぞれ86.3%、96.9%であった。一方で、産科医療機関においてパートナーのメンタルヘルス問題をスクリーニングし

た施設の割合は7.3%であった。パートナーのうつ病に関する質問に対する回答結果は、(i)非常に重要：18.6%、(ii)やや重要：53.1%、(iii)あまり重要でない：22.8%、(iv)重要でない：5.5%であった。

D. 考察

産後のケアの内容や産婦のアセスメントの実態等を把握するために自治体に対してヒアリングによる調査を実施した。聞き取った内容を、（1）産後ケア事業の対象、（2）保健指導、（3）身体的ケア、（4）心理的ケア、（5）対象者別のケア、（6）アセスメント、（7）情報連携、（8）体制整備、（9）課題の9項目に区分し、各項目について「共通性の高い事項」と「特徴的あるいは差異が目立つ事項」に整理した。併せて、対象自治体のホームページに公開された産後ケア事業に関する情報を整理した。

今後は各項目の聞き取り内容について提言に結びつくように考察を加え、産後ケア事業に関する精神科と事業所・市町村との連携に関する実態調査の結果と併せて科学的根拠に基づく効果的な産後のケア実施に関するガイドンスおよびリーフレットの作成に繋げたい。

また、日本の産科医療機関における精神疾患を有する妊婦への対応は、まだ十分とはいえないのが実状であり、一方で父親に対するリソースが乏しい日本では、パートナーのメンタルヘルスケア体制の確立は急務であることが明らかとなった。

E. 結論

産後のケアの内容や産婦のアセスメントの実態等を把握するために10カ所の自治体に対してヒアリングによる調査を実施した。今後は各項目の聞き取り内容について提言に結び

つくように考察を加え、産後ケア事業に関する精神科と事業所・市町村との連携に関する実態調査の結果と併せて科学的根拠に基づく効果的な産後のケア実施に関するガイドンスおよびリーフレットの作成に繋げたい。

F. 研究発表

1. 論文発表

- ・緒方靖恵, 上原里程, 横山美江. 3 ヶ月児健診時における母親の経済不安と気分および子どもとの生活への思いとの関連 乳児健診データを用いた横断研究. 日本公衆衛生雑誌. 2024;71:33-40.
- ・ Suzuki S. Prevention of Postpartum Depression by Multidisciplinary Collaboration in Japan. JMA J. 2024 Oct 15;7(4):600-602.
- ・ Watanabe A, Sagawa K, Harigane E, Shinmura H, Kurashina R, Matsushima T, Suzuki S. Effect of the COVID-19 Pandemic on the Mental Status of Pregnant Women: A Single-Center Study. J Nippon Med Sch. 2024;91(5):457-464.
- ・ Tsunoda Y, Osumi M, Matsushima T, Ishikawa M, Suzuki S. Effect of Dural Puncture Epidural Technique on Management of Breakthrough Pain for Parous Women Receiving Labor Analgesia during Induced Labor: A Retrospective Cohort Study. J Nippon Med Sch. 2024;91(5):426-431.
- ・ Takizawa A, Tsunoda Y, Matsushima T, Suzuki S. Factors associated with insufficient cervical ripening in a controlled-release dinoprostone vaginal delivery system: A single perinatal center retrospective study. Taiwan J Obstet Gynecol. 2024 Nov;63(6):887-891.
- ・ Sagara Y, Suzuki S, Hoshi SI, Sekizawa A, Ishiwata I. Current Status of Cooperation Between Obstetric Care Institutes and Psychiatrists in Japan. Cureus. 2024 Oct 14;16(10):e71413.
- ・ Hoshi SI, Suzuki S, Sekizawa A, Sagara Y, Ishiwata I. Current status of paternal mental health care in obstetric institutes in Japan. Int J Gynaecol Obstet. 2024 Oct 8.in press.
- ・ Kojima J, Suzuki S, Hoshi SI, Sekizawa A, Sagara Y, Matsuda H, Ishiwata I, Kitamura T. Challenges for early diagnosis of neonatal herpes infection in Japan. Front Reprod Health. 2024 Aug 8;6:1393509.
- ・ Suzuki S, Eto M. Current Status of Users of Postpartum Care Program at a Japanese Perinatal Center. JMA J. 2024 Jul 16;7(3):415-417.
- ・ Ichikawa T, Toyoshima M, Watanabe T, Negishi Y, Kuwabara Y, Takeshita T, Suzuki S. Associations of Nutrients and Dietary Preferences with Recurrent Pregnancy Loss and Infertility. J Nippon Med Sch. 2024;91(3):254-260.
- ・ Suzuki S. Postpartum care services and multi-disciplinary collaboration in Japan. J Int Med Res. 2024 May;52(5):3000605241254326.
- ・ Suzuki S. Postpartum Care Program in Japan. Front Glob Womens Health. 2024 Mar 8;5:1333758.
- ・ Hoshi SI, Suzuki S, Sagara Y, Sekizawa A, Ishiwata I. Expansion of Mental Health Care in Japanese Obstetric Institutes. Cureus. 2024 Feb 21;16(2):e54637.

- ・ Haruna Y, Shibata Y, Suzuki S. Prophylactic Cervical Cerclage in Cases Following Cervical Conization at a Japanese Perinatal Center. *Cureus*. 2024 Feb 21;16(2):e54639.
- ・ Suzuki S. Current Strategies for Perinatal Mental Health Care in Japan. *JMA J*. 2024 Jan 15;7(1):5-9.
- ・ 安達久美子, 上田佳世, 江藤宏美他, エビデンスに基づく助産ガイドライン-妊娠期・分娩期・産褥期 2024-, 日本助産学会誌, 2024, 38, Supl1. 1-223.
- ・ 佐山理恵, 安達久美子, 岡本美和子, 島田真理恵, 助産所における業務継続計画策定と災害対応に関する研究, 日本助産学会誌, 2024, 38 (1), 155-163.
- ・ 片岡優華, 安達久美子, 河内浩美, 坂本希世, 日本における「育児期の親のエンパワメント」の概念分析, 母性衛生, 2024, 64 (4) ,636-646.
- ・ 巖 千晶, 片岡 優華, 二村 文子, 宝田 慶子, 菱沼 由梨, 安達 久美子, 集合住宅内での“子育てひろば”を通した母親のコミュニティ醸成, 日本産前産後ケア・子育て支援学会誌, 2024, 6 (1), 1-18.
- ・ Kaori Ichikawa, Katsumi Fujitani, Hironobu Matsushita. Chapter12, What Are the Competencies That Are Necessary to Promote Interprofessional Collaboration? A Study to Identify Deviations from the Competencies That Nursing Professions Themselves Perceive as Competent. In Hironobu Matsushita and Carole Orchard (Eds): *Innovative Collaboration in Healthcare*. Springer Nature. (in press)
- ・ 市川香織, 吉武幸恵, 伊藤美香. 介護支援専門員による基本チェックリストを用いたアセスメントの現状. 東京情報大学研究論集, 2024. 28(2),1-8.
- ・ Yamaguchi S, Ojio Y, Koike J, Matsunaga A, Ogawa M, Kikuchi A, Kawashima T, Tachimori H, Bernick P, Kimura H, Inagaki A, Watanabe H, Kishi Y, Yoshida K, Hirooka T, Oishi S, Matsuda Y, Fujii C. : Associations between readmission and patient-reported measures in acute psychiatric inpatients: a multicenter prospective longitudinal study. *Soc Psychiatry Psychiatr Epidemiol*. 2024 Aug 5. doi: 10.1007/s00127-024-02710-5.
- ・ Yanagisawa Y, Kimura H, Komatsu H, Watanabe H, Iyo M. : The effectiveness of the mental health social worker-led multiprofessional program in preventing long-term hospitalization and readmission in acute psychiatric inpatients in Japan: A retrospective analysis. *PCN Rep*. 2024 Apr 14;3(2):e192. doi: 10.1002/pcn5.192. eCollection 2024.
- ・ Suzuki K, Niitsu T, Kimura H, Yanagisawa Y, Ono M, Komatsu H, Yoshimura K, Watanabe H, Iyo M. : Association between mental health social worker staffing in psychiatric emergency wards and readmission outcomes: A nationwide survey in Japan. *PCN Rep*. 2024 Apr 1;3(2):e189. doi: 10.1002/pcn5.189. eCollection 2024.
- ・ 渡邊 博幸：妊産婦メンタルヘルスの現状と支援対策. *Perinatal care* 2024;43(12):10-16.
- ・ 渡邊 博幸：妊産婦における向精神薬の調整・管理のポイント. *産科と婦人科* 2024;91 (6) : 631-636.
- ・ Izumi S, Nishimura N, Iwama N, Tomita H, Hamada H, Obara T, Ishikuro M, Murakami T, Satoh M, Hirose T, Saito M, Ohkubo T, Kuriyama S, Yaegashi N, Hoshi K, Imai Y,

- Metoki H, and the BOSHI Study Group. Pregnancy and Postpartum Trends in Self - Measured Blood Pressure and Derived Indices: The BOSHI Study. J Clin Hypertens. In Press.
- Orui M, Obara T, Ishikuro M, Noda A, Shinoda G, Murakami K, Iwama N, Chiba I, Nakaya K, Hatanaka R, Kogure M, Kobayashi N, Kikuchi S, Metoki H, Kikuya M, Nakaya N, Hozawa A, Tomita H, Kuriyama S. Evaluation of depression at 6 and 12 months postpartum by examining depressive symptoms and self-harm ideation during the early postpartum period: Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study. PCN Rep. 2024 Nov 4;3(4):e70025. doi: 10.1002/pcn5.70025. eCollection 2024 Dec.
 - Ishikuro M, Obara T, Hasegawa M, Murakami K, Ueno F, Noda A, Onuma T, Matsuzaki F, Iwama N, Kikuya M, Sugawara J, Azegami T, Nakayama T, Mito A, Arata N, Metoki H, Kanda T, Kuriyama S. Subsequent high blood pressure and hypertension by hypertensive disorders of pregnancy: the Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study. Hypertens Res. 2024 Oct 11. doi: 10.1038/s41440-024-01936-9. Online ahead of print.
 - Izumi S, Iwama N, Hamada H, Obara T, Ishikuro M, Satoh M, Murakami T, Saito M, Ohkubo T, Sugiyama T, Kuriyama S, Yaegashi N, Hoshi K, Imai Y, Metoki H; BOSHI Study Group. Associations of fasting plasma glucose and glycosylated hemoglobin levels at less than 24 weeks of gestation with hypertensive disorders of pregnancy: the BOSHI study. Endocr J. 2024 Oct 1;71(10):979-993. doi: 10.1507/endocrj.EJ23-0568. Epub 2024 Jul 26.
 - Tokioka S, Nakaya N, Hatanaka R, Nakaya K, Kogure M, Chiba I, Nochioka K, Metoki H, Murakami T, Satoh M, Nakamura T, Ishikuro M, Obara T, Hamanaka Y, Orui M, Kobayashi T, Uruno A, Kodama EN, Nagaie S, Ogishima S, Izumi Y, Fuse N, Kuriyama S, Hozawa A. Depressive symptoms as risk factors for the onset of home hypertension: a prospective cohort study. Hypertens Res. 2024 Nov;47(11):2989-3000. doi: 10.1038/s41440-024-01790-9. Epub 2024 Jul 10.
 - Ishikuro M, Nishimura T, Iwata H, Metoki H, Obara T, Iwama N, Murakami K, Rahman MS, Tojo M, Kobayashi S, Miyashita C, Tanaka K, Miyake Y, Ishitsuka K, Horikawa R, Morisaki N, Yamamoto M, Sakurai K, Mori C, Shimizu A, Sata F, Tsuchiya KJ, Kishi R, Kuriyama S; Japan Birth Cohort Consortium. Association between infertility treatment and hypertensive disorders of pregnancy in the Japan Birth Cohort Consortium: a meta-analysis. J Hum Hypertens. 2024 Feb;38(2):187-190. doi: 10.1038/s41371-023-00890-2. Epub 2024 Jan 10.
- ## 2. 学会発表
- 羽入田 彩花, 佐々木 溪円, 上原 里程. 国内で実施された産後ケアの抑うつや不安に対する効果に関する文献レビュー. 札幌, 小児保健研究. 83巻講演集 83:189;2024.
 - 上原里程、市川香織、目時弘仁、佐々木溪円、

羽入田彩花. 科学的根拠に基づく産後ケア実施を推進するための産後ケアに関する文献レビュー. 第 83 回日本公衆衛生学会総会, 札幌 2024.10.29. 日本公衆衛生雑誌（特別附録）71(10):410;2024.

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし